

地域社会への貢献

▶ 基本的な考え方

ミウラグループでは、世界が達成をめざすSDGs(持続可能な開発目標)を100年企業に向けた目標の一つとして捉え、CSR活動を積極的に推進しています。ミウラグループが事業活動を行っている国内外の各地域における持続的な発展や豊かな社会の実現をめざし、SDGsの視点を考慮した教育支援、環境保全、地域活動への協力など、さまざまな社会貢献・地域貢献の取り組みを行っています。

▶ 異業種企業が連携した環境教育プロジェクト

当社は、古紙をアップサイクルすることで循環型社会の実現をめざす取り組み「紙ンバック(カミンバック)プロジェクト」を株式会社今治・夢スポーツ、第一印刷株式会社と2022年2月に開始し、同年4月19日に今治明徳中学校で、紙のリサイクルについての出前授業やSDGsをテーマとしたワークショップを実施しました。今後も継続したカリキュラムを計画しています。



今治明徳中学校での出前授業の様子

「紙ンバックプロジェクト」はウェブサイトでご覧いただけます。<https://www.kaming-back.com/>

▶ フードドライブ(食料品の寄付活動)でSDGsの達成に貢献

フードドライブ活動は社会課題である食品ロス削減と食料を必要とする人々への支援を目的としています。2021年11月松山商工会議所の呼びかけにより、本社(堀江・北条)で2日間実施しました。各家庭から持ち寄られた食品は、松山商工会議所を通じて子ども食堂などの団体に寄付され、活動に参加した従業員からは「もっとこの活動が広がって欲しい」などの反響があり、2022年6月には2回目の実施となりました。



フードドライブ協力の呼びかけ



各家庭から持ち寄られた食品

▶ ミウラート・ヴィレッジ (三浦美術館)

三浦工業本社(愛媛県松山市堀江町)にある「ミウラート・ヴィレッジ」は、ミウラグループの創業者である三浦保(1928-1996)が生前に企画し1998年に竣工した美術館です。世界中から蒐集した美術品や自ら制作した陶板画等を従業員や地域の方々に鑑賞していただきたいという創業者の強い意志が現在も引き継がれています。2021年度は、創業者没後25年の節目として「三浦保展～生命の光」の展覧会を開催し、その記念イベントとして、坊っちゃん劇場演者によるミュージカル「三浦保の夢」を上演しました。今後も芸術を通じた地域社会への貢献活動を行っていきます。



ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)

▶ 教育振興への取り組み(愛媛大学の寄付講座)

「環境産業科学講座」は1999年に開設され、2002年11月には、同大学農学部^{いのち}に愛媛大学環境産業研究施設「三浦記念館」を建築・寄贈しました。同施設では、環境にかかわる分析・対策技術の研究開発と人財育成を目的とし、食品や水、土壌に含まれるPOPs(残留性有機汚染物質)や残留農薬などの化学物質の分析技術、室内環境のモニタリング技術の開発に産官学連携で取り組んでいます。



愛媛大学農学部環境産業科学講座「三浦記念館」